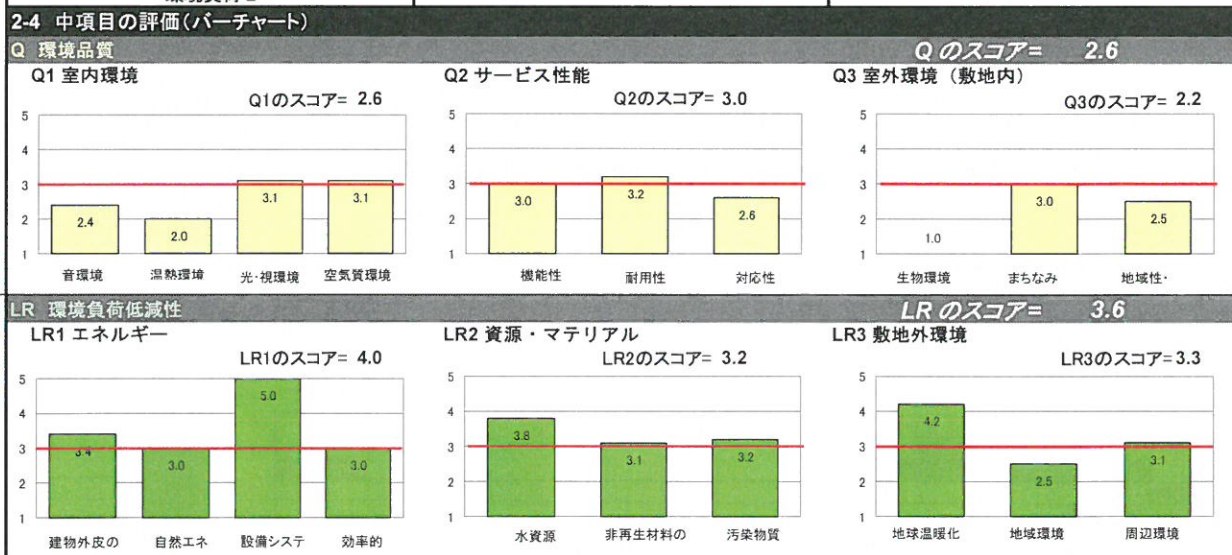


CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)鳥取駅前ホテル 新築工事		階数	地上10F
建設地	鳥取市永楽温泉町102番地102番地5.102番地6.102番地7.104番地104番地2.末広温泉町714番地		構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域		平均居住人員	200 人
地域区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店・ホテル		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月	予定	評価の実施日	2016年4月5日
敷地面積	1,252 m ²		作成者	株式会社ディーエス設計
建築面積	599 m ²		確認日	
延床面積	5,647 m ²		確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項			その他
総合 10階建てのホテルである。1階には物販店、2階がホテルのフロント、3～10階が客室となっている。 高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。			-
Q1 室内環境 - 客室内のサッシは遮音性能T-3を確保し、音環境に配慮する。 - 客室の開口部は十分な大きさを確保し、昼光利用、自然換気性能に配慮する。	Q2 サービス性能 1Gbitクラスのインターネットサービスの環境を整備する。 - 耐用年数の長い材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) 空地部分は積極的に緑化を図り、生物環境の創出や熱環境の向上に配慮する。	
LR1 エネルギー - 断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。 - 高効率な設備システムの導入により、エネルギー消費量を抑える。	LR2 資源・マテリアル - 節水型機器の採用、井水利用により、水資源保護に配慮する。 - 不活性ガス消火剤の採用により、フロン・ハロンの使用を回避している。	LR3 敷地外環境 - 周辺道路の交通渋滞に配慮した駐車場計画とする。 - 周辺への光害に配慮した照明計画とする。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される